



レイ大高島通信

レイカディア大学同窓会高島支部

第79号 令和2年 5月10日

発行責任者 木下 納

◎「書面議決」にて支部総会を代行。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の措置として今年度の支部総会は「書面議決」としました。特に反対意見もなく①令和2年度の事業計画②令和2年度の収支予算は承認されたものと解釈します。尚、新三役並びに各行事担当は次の通りです。今年もよろしくお願ひします。

○支部長 木下 納

○副支部長 清水 良秋

○会計 足立 憲一

○監査 木津紀一郎

○GG担当 白井・川尻・古谷

○剪定担当 高島・大藤・西澤

○歓迎会担当 栗原・楯

◎令和2年度の本部総会も開催を中止

会長・副会長・会計・新旧常任理事・新旧HP管理班長等限定した役員での文書議決に変更しました。

白寿慶祝の小林さん・林さん
米寿慶祝の志村さん・松本さんに贈呈された賞状と記念品は代理で受け取り、役員さんがそれぞれ各人に手渡しました。

◎新型コロナウイルスについて「緊急事態宣言」

安倍晋三首相は4月7日17時45分、新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言を東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡の7都府県を対象として、期間は大型連休の終わる5月6日までの1ヶ月とする。

◎「緊急事態宣言」全国へ拡大
4月16日、政府は新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づき緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大した。期間は東京・大阪と同様5月6日までとする。

◎5月4日・安倍首相は緊急事態延長を5月31日まで延長することを表明。対象は引き続き全都道府県とする。

◎感染の広がりを長期的に防ぐための「新しい生活様式」の具体例を次に示します。
日常生活の中で心がけることで「自身だけでなく大事な家族や友人、隣人の命を守る事」になります。

「新しい生活様式」の実践例

政府の専門家会議の資料から作製

	基本的な感染対策 人との間隔はできるだけ2m(最低1m)／症状がなくてもマスク着用 ／家に帰ったらまず手や顔を洗う
	日常生活で 毎朝体温測定・健康チェック 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
	買い物 電子決済の利用 サンプルなど展示品への接触は控えめに
	娯楽、スポーツなど ジョギングは少人数で 歌や応援は、十分な距離かオンライン

	公共交通機関 会話は控えめに 混んでいる時間帯は避けて
	食事 大皿は避けて、料理は個々に 対面ではなく横並びで座ろう
	冠婚葬祭など 多人数での会食は避けて 発熱やかぜの症状がある場合は参加しない
	働き方 テレワークやローテーション勤務 会議や名刺交換はオンライン

◎柴崎さん(現副支部長)が県の「シヤクナゲ賞」を受賞
地域の緑化や森づくりに長年取り組む、地域の模範としての功績が特に顕著な人に対し、県が緑化功労者として表彰されました。柴崎さん、これからも活躍して下さい。



受賞を喜ぶ柴崎さん

◎高島地区の八田キヨミさん(19期文芸)清水 豊さん(14期文芸)から高齢のため退部連絡がありました。(支部の総員は54名となりました)

◎びわ湖、大丈夫か?
昨年続き、今年も「琵琶湖の深呼吸」が確認されなかった。全層循環については、今津沖にある「第一湖盆」の観測で判断している。それによると3月の調査では8.5~9.3ミリグラムで全層循環の目安としている10ミリグラムは2年連続して確認出来なかった。(水1リットル中の酸素濃度です)

